

令和5年5月7日

futbol y vida

Poco a poco ...
boco y boco ...



先ずはインターハイ都大会出場決定!!
次は二次トーナメント進出を目指す!!

インターハイ予選は、久しぶり(10年以上??)の都大会出場!!

チーム一丸となり二次トーナメント進出を目指し全力で挑む!!

4月23日(日)、2023年度インターハイ予選が都内全地区で一斉にスタートしました。片倉高校の初戦は、今年度より高体連に新規参入したオール一年生チーム星槎国際八王子高校でした。二週間前のリーグ戦で勝利し、いい状態で今大会に臨んだはずですが、公式戦特有の緊張からかプレーに堅さが見られました。予選三試合を通してこの部分は払拭できなかったのも、チーム(個人)の課題として、次の大会までには少しでもクリアできるように努力させたいと思っています。また、相手は一年生チームということもあり失うものは何もないので、前から勢いよく出てくるとともに、このゲームではGKが大当たりしてゴールを奪えずに苦労した時間帯もありましたが、終わってみれば5-1で勝利しました。やはり、公式戦の初戦はプレッシャーに押し潰されそうになります。



<インターハイ予選初戦に挑む>

法政戦はPK合戦の末薄氷の勝利で代表決定戦へ!!

30日(日)、二回戦VS法政は会場を立川高校グラウンドで行われました。ここ三年間リーグ戦も同じグループであり二か月前の新人戦三回戦でも対決したばかりです。公式戦も四度目の対決となればお互い手の内の知った者同士。しかも、初戦のゲームにスカウティングに来るなど、この試合に対する勝利への並々な執念が伝わってきました。結果が出始めると相手チームが対策を練ってくることは当たり前のことですが、それに打ち克ってこそ真の強いチームに成長していくのです。予想通り相手チームはしっかり守備のブロックを作って、三枚を前線に残す布陣で来ました。特に、ワントップ気味の⑩の飛び出しはケアしていましたが、こちらのミスから先制点を許してしまいます。それでも、相手陣地でボールを動かし果敢に攻め込みますが、相手の堅固な守備陣を崩しきれません。後半8分に石坂(3年)が同点ゴールを決めるものの最後まで集中力の途切れない相手から追加点を奪えずにそのままタイムアップ。勝負の行方はPK合戦に委ねられ、片倉高校は全員が落ち着いて決めて代表決定戦に辛うじて進めることができました。

残念ながら、このゲームでも、今まで培ってきたものを本番では出せなかったり、チャレンジしなかったりする場面が見られました。練習とは本番で使うための技術を磨き、積み上げて行く場です。それに足りるだけの時間と場は与えてきていますが…。ここからは個々のメンタリティなのでしょう。指導スタッフも常に試行錯誤の日々を送っています。



<PK合戦の末勝利。チャンスを頂いた>

ICU高校に勝利し、久しぶりの都大会出場決定!!

5月3日、明大中野八王子グラウンドでインターハイ予選代表決定戦が行われました。丁度一年前に、ここで工学院高校に延長の末サヨナラ負けを喫しただけに、今回はICUに勝利して都大会出場することは絶対でした。お互い情報のない中での対戦だけに早く自分たちのペースにゲームを持って来られるかが勝負の鍵となります。

唯一の情報であった、相手トップ⑨に立ち上がりいきなりピンチを作られFKを与えてしまいましたが事なきを得ます。前半16分の先制点までやはり緊張からなのか攻めあぐむ場面も見られましたが、二点目が決まると心に余裕ができてきたのかやっと本来の片倉らしい攻撃が見られるようになりました。スコアが開いた後半は、サブメンバーの中でも調子を上げているものからカードを切ることができ、交代選手枠の五人全てを出場させることができました。サブのメンバーが公式戦の経験値を上げることができたことは今後のチーム作りに向けてとてもいいことです(サブメンバーの高くモチベーションを設定できることに期待します)。

結局、代表決定戦は8-0(前半3-0、後半5-0)という結果でした。この結果、久しぶりの(前は10年以上も前)都大会進出を決めることができました。しかし、今大会を通して周囲のチームや観客を驚かすほどのチームにはなれていないと感じています。都大会に進出したことに満足することなく、ひとつでも多くNew K's football styleで都大会を勝ち上がれるようにもっともっと練習しなくてはなりません。と同時に、メンタリティの強化も図らなくてはなりません。早速、一週間後からスタートする大会に向けて準備を進めていきたいと思います。



<After the Game>

新シーズンの最初の目標であるインターハイ予選都大会進出を久しぶりに決めることができました。インターハイ予選も都大会出場が本当に遙か昔のことであったことに驚いています。しかし、何処に原因があったのか?私も四年前に片倉高校に赴任して直ぐに分かりました。そして、その原因を解決するために時間は掛かりましたが、やっところまで辿り着きました。学校全体ではまだまだですが、サッカー部に関しては挨拶・礼節はもちろんのこと、共有場所の清掃・整理整頓など当たり前のことをサッカー部のウェアを着ていなくてもできるようになることを日頃から指導してきました。その成果が、自校の関係者ではなく他校の指導者や保護者の方から評価を頂けるようになりました。これこそが、真の評価であると思っています。

GW中も毎日サッカー三昧でしたが、新一年生も成長し上級生も刺激されて成長し、チームも大きく成長しています。インターハイ都大会がとても楽しみです。乞うご期待ください!!

PS:大会中に佐藤先生に二人目のお子様(男の子)が誕生しました。おめでとうございます!!